

CASIO®

3178*JA

P

取扱説明書

3178

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱
いいただきますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

●オートELバックライト

暗いところでも時計を傾けると表示を明るく照らします。

●ストップウォッチ 1・2

それぞれ1/100秒単位で999時間59分59秒99（1000時間計）ま
で計測できます。

●タイマー

1分単位で24時間までセットでき、1秒単位で減算計測を行ないます。

●アラーム（5本）・時報報知

アラームは5本（通常アラーム4本／スヌーズアラーム1本）セットで
き、任意の時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎正時（00
分）に時報を鳴らすことができます。

●ワールドタイム

世界29タイムゾーン（48都市）の時刻を表示させることができます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠️ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計脱着の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	表紙裏面
液晶表示について	5
操作音について	5
操作音の ON / OFF 設定	5
操作のしくみと表示の見方	6
ライト点灯について	8
ボタンを押して点灯させる	8
時計を傾けて点灯させる	8
ライト点灯時間の切替え	10
報音フラッシュ機能について	11
報音フラッシュ機能の ON / OFF 設定	11
グラフィック表示について	11
ストップウォッチの使い方	12
計測のしかた	12
オートスタート機能 (ストップウォッチ 1 のみ)	13
タイマーの使い方	14
タイマー方法について	14
電子音の報音について	14
タイマーのセット	15
タイマーの使い方 (減算計測のしかた)	16

アラーム・時報の使い方	17
アラームについて	17
アラーム時刻のセット	17
アラームの ON / OFF 設定	18
鳴っている電子音を止めるには	19
モニターアラーム	19
時報について	19
時報の ON / OFF 設定	19
ワールドタイムの使い方	20
都市のサーチ	20
サマータイム (DST) について	20
サマータイムの設定	20
都市コード一覧	21
時刻・カレンダーの合わせ方	22
時刻・カレンダーの合わせ方 (ホームタイムの設定)	22

製品仕様	24
ご使用上の注意	26
お手入れについて	29
電池交換について	30

液晶表示について

本書は A タイプの液晶表示で説明しております。
B タイプ（反転液晶）をお使いの方は、A タイプで各インジケーター（マーク）が ON のときに点灯するところが白くなると置き換えてご覧ください。

<Aタイプ>



<Bタイプ>



操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON/OFFを切り替えることができます。

■ 操作音の ON / OFF 設定

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

◎ ボタンを約3秒間押し続けます

⇒ 確認音が鳴り、操作音のON/OFFが切り替わります。

※操作音をOFFにしているときは、MUTEマークが点灯します。

※◎ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。

※操作音がOFFでも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音、ストップウォッチ1のオートスタート音は鳴ります。



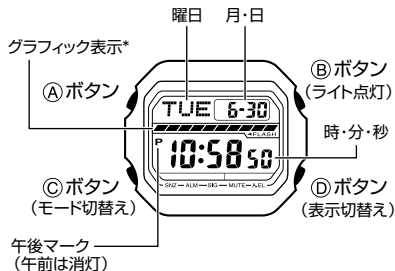
MUTEマーク

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※アラームモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



*グラフィック表示については、11ページを参照。

★曜日の見方

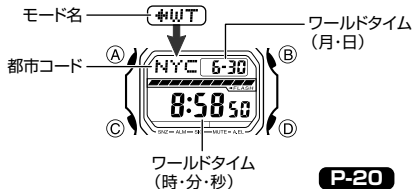
SUN:日	MON:月	TUE:火
WED:水	THU:木	FRI:金
SAT:土		

★12/24時間制切替え

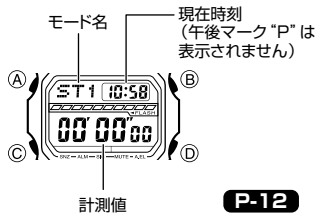
◎ ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。



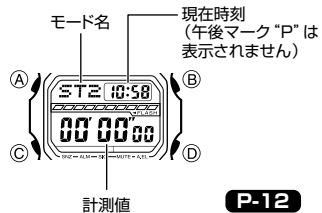
ワールドタイムモード



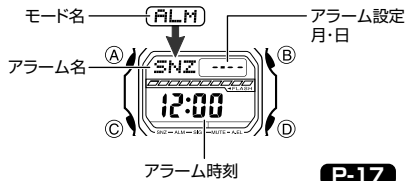
ストップウォッチ1モード



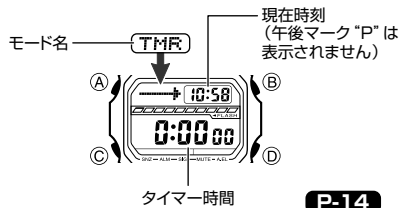
ストップウォッチ2モード



アラームモード



タイマーモード



ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときにライトを点灯させて時刻を見ることができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる

～手動点灯～

「セット中（表示点滅）」以外の、どのモードのときでも

Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

※点灯時間は約3秒間と約5秒間のいずれかを選ぶことができます（10ページ参照）。

※ オートライトOFFのときもⒷボタンを押すと点灯します。



本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて点灯させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても時計を傾けるだけでライトが点灯する便利な機能です。暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけでライトが約3秒間または約5秒間点灯します。

準備：時刻モードのとき、Ⓑボタンを約3秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



オートライト
ONマーク

※オートライトONのとき、時刻モードでⒷボタンを約3秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

● ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。

※文字板の左右(3時-9時方向)の角度を±15°以内にしてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作音やアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、オートライトONにしてから約6時間です。それ以降は電池消費防止のため、自動的にオートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度時刻モードでⒷ ボタンを約3秒間押し続けてオートライトONマークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約3秒間または約5秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上へあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。
※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→ 秒が点滅します。



※ セット状態で2～3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 点灯時間を選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓑ ボタンを押すごとに約3秒間と約5秒間が切り替わります。

※  マーク=約 3 秒間
 マーク=約 5 秒間



3. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

報音フラッシュ機能について

報音フラッシュ機能をONにしていると、アラーム・時報、ストップウォッチ1のオートスタート音、タイマーのタイムアップ音に連動して、ライトが点滅します。

■ 報音フラッシュ機能のON/OFF設定

時刻モードのとき

① ボタンを約3秒間押し続けます

→ 報音フラッシュ機能のON/OFFが切り替わります。

※ 報音フラッシュ機能をONに切り替えたときにライトが2回点灯し、OFFに切り替えたときにライトが1回点灯します。

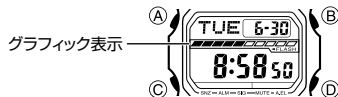
※ 報音フラッシュ機能をONにしているときは、フラッシュONマークが点灯します。

※ ① ボタンを押したときに、12時間制表示/24時間制表示も切り替わりますので、ご注意ください。



グラフィック表示について

本機にはグラフィック表示があり、モードによって異なる点灯/消灯をします。



モード	グラフィック表示
時刻	現在時刻の秒に連動して点灯/消灯します(1秒単位)
ストップウォッチ1 ストップウォッチ2	計測中に点灯/消灯します
タイマー	計測中に点灯/消灯します
アラーム	点灯しません
ワールドタイム	現在時刻の秒に連動して点灯/消灯します(1秒単位)

ストップウォッチの使い方

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい◎ボタンを押して、ストップウォッチ1(または2)モードにします。

本機には、2つのストップウォッチがあります(ストップウォッチ1とストップウォッチ2)。それぞれのストップウォッチは1/100秒単位で999時間59分59秒99(1000時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

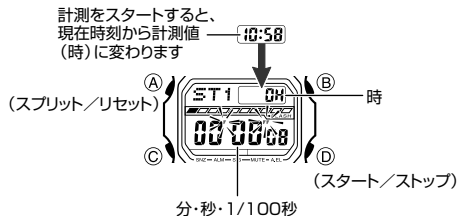
また、ストップウォッチ1には、スタートの5秒前からカウントダウンを開始するオートスタート機能もあります。

■ 計測のしかた

ストップウォッチ1(または2)モードのとき

◎ ボタンを押します

⇒◎ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。
※計測中はグラフィック表示が点灯/消灯します。



★計測中に(A)ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります("SPL"表示)。

※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★計測終了後(A)ボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。

●通常計測



<積算計測>

口スタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに②ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



●1・2着同時計測



■オートスタート機能（ストップウォッチ1のみ）

オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。

●オートスタート表示にするには

計測リセット状態のとき

① ボタンを押します

→ ② ボタンを押すごとに通常表示とオートスタート表示とが切り替わります。

※オートスタート表示にすると、カウントダウン秒数が表示されます。

<オートスタート表示中>

カウントダウン秒数



●オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき

① ボタンを押します

→5秒前からのカウントダウンを始めます。3秒前からは1秒ごとに電子音が鳴ります。

※カウントダウンを中止し即スタートするときは、④ボタンを押します。

※計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同様になります。

※計測を終了してリセットをすると、オートスタートも解除されます。

タイマーの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマー時間は1分単位で24時間までセットすることができ、1秒単位で減算計測を行ないます。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については15ページ参照。

● リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するとき便利です。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

■ 電子音の報音について

本機のタイマーは以下のように電子音が鳴ります。

* 予告音のON / OFF 設定については15ページ参照。

● 予告音 ON に設定したときは

残り時間5分10秒～5分のとき	1秒ごとに電子音が鳴ります。
残り時間4分～1分のとき	1分ごとに電子音が鳴ります。
残り時間30秒	電子音が1秒鳴ります。
残り時間10秒～0秒（タイムアップ）	1秒ごとに電子音が鳴ります。

※セットした時間が5分以下のときは途中から鳴ります。

● 予告音 OFF に設定したときは

セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

※電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

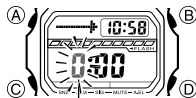
1. セット状態にする

タイマーモードのとき

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

→ タイマー時間の「時」が点滅します。

※ セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



タイマー時間(時)

2. 「時」をセットする

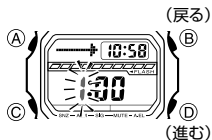
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ 1分単位で24時間までセットできます。

※ タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を“0:00”にします。



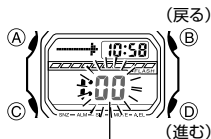
(戻る)

(進む)

3. 「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

→ 「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にⒹ またはⒷ ボタンでセットします。



タイマー時間(分)

4. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、
Ⓓ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマー“→”とオートリピートタイマー“”が切り替わります。

オートリピートマーク



5. 予告音のON / OFFを選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、
Ⓓ ボタンを押します

→ Ⓓ ボタンを押すごとにON / OFFが切り替わります。

※ ♪ ON = 予告音 ON
♪ OFF = 予告音 OFF



6. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき

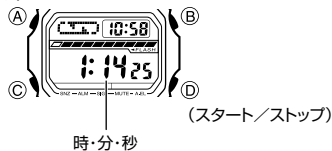
Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※計測は 1 秒単位で行ないます。

※計測中はグラフィック表示が点灯/消灯します。

(リセット)



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。

★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラーム・時報の使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1 ~ AL4)

設定した時刻になると 20 秒間の電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると 20 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。

なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

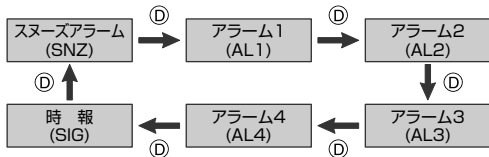
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに、以下の順で表示が切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



アラーム名



2. セット状態にする

◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→ 「時」 が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマーク "SNZ" が点灯します。

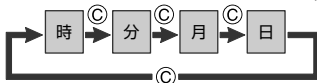
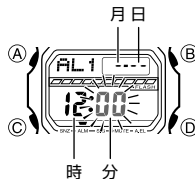
※ セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



3. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所をセットする

①または② ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに1つずつ進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ 「月・日」をセットしないときは、「-」または「--」を表示させます。

手順3~4の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※ 「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または24時間制にご注意ください。

※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

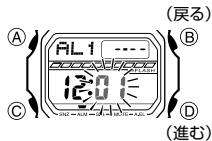
※ 「時・分」に加えて、「月・日」をセットすることにより、以下のようにアラームの鳴るタイミングが選べます。

- ・ 毎日鳴らす → 「時・分」のみセット
- ・ 1ヵ月間毎日鳴らす → 「月・時・分」のみセット
- ・ 毎月同じ日に鳴らす → 「日・時・分」のみセット
- ・ 指定月日に鳴らす → 「月・日・時・分」全てセット

5. セットを終わる

③ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。



■ アラームの ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、①または② ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

③ ボタンを押します

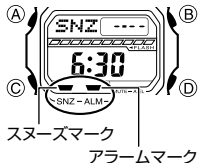
→ ③ ボタンを押すごとに、アラームの ON / OFF が切り替わります。

※ アラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>



<スヌーズアラーム表示>



■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、約5分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。

- スヌーズアラームをOFFに切り替えたとき。
- スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
- 時刻モードでセット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードで④ボタンを押し続けると、押し続けている間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00分するとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報のON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、①または②ボタンを押して、時報表示を選びます。

① ボタンを押します

→ ①ボタンを押すごとに、時報のON / OFFが切り替わります。

※時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。

<時報表示>



ワールドタイムの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン（48都市）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※時刻モードで基本時刻（ホームタイム）および時差をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

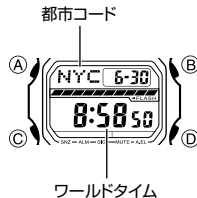
■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに「都市コード」が1つずつ進みます。

※ ◎ ボタンを押し続けると早送ります。



■ サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの設定

準備：ワールドタイムモードのとき、◎ ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

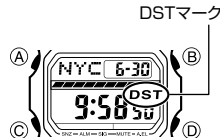
◎ ボタンを約1秒間押し続けます

⇒ DST マークが点灯して、サマータイム設定*になります。

* サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。

※DST マークが点灯しているときに、◎ ボタンを約1秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。

※各都市ごとにサマータイムの設定ができます。



■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	-11	パゴパゴ	PAR	+1	パリ	KBL	+4.5	カブール
HNL	-10	ホノルル	MCM	+1	モンテカルロ	KHI	+5	カラチ
ANC	-9	アンカレジ	ROM	+1	ローマ	DEL	+5.5	デリー
LAX	-8	ロサンゼルス	BER	+1	ベルリン	DAC	+6	ダッカ
DEN	-7	デンバー	STO	+1	ストックホルム	RGN	+6.5	ヤンゴン
MEX	-6	メキシコシティ	ATH	+2	アテネ	BKK	+7	バンコク
CHI	-6	シカゴ	JNB	+2	ヨハネスブルグ	SIN	+8	シンガポール
NYC	-5	ニューヨーク	ANK	+2	アンカラ	HKG	+8	香港
CCS*	-4	カラカス	NIC	+2	ニコシア	BJS	+8	北京
YYT	-3.5	セントジョンズ	HEL	+2	ヘルシンキ	PER	+8	パース
RIO	-3	リオデジャネイロ	CAI	+2	カイロ	SEL	+9	ソウル
BUE	-3	ブエノスアイレス	JRS	+2	エルサレム	TYO	+9	東京
RAI	-1	ブライア	MOW	+3	モスクワ	ADL	+9.5	アデレード
LON	0	ロンドン	JED	+3	ジェッダ	SYD	+10	シドニー
DKR	0	ダカール	THR	+3.5	テヘラン	NOU	+11	ヌーメア
MAD	+1	マドリード	DXB	+4	ドバイ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2008年3月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

※各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

*2007年12月にCCS（カラカス）の時差が「-4.5」に変更になっていますが、本機では対応しておりません。

「時差-4.0の地域」としてご使用ください。

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻・カレンダーの合わせ方 (ホームタイムの設定)

1. セット状態にする

時刻モードのとき

(A) ボタンを約1秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。

※ セット状態で2~3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 秒合わせ…30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて**(D)** ボタンを押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。



3. サマータイム (DST) のON / OFF を選ぶ

(C) ボタンを押してから、**(D)** ボタンを押します

⇒**(D)** ボタンを押すごとにON / OFF が切り替わります。



※ OFF=サマータイムOFF(通常時間)
On=サマータイムON(夏時間)

* サマータイム (DST) については20ページ参照。

4. ホームタイムの時差を選ぶ

◎ ボタンを押してから、
 ④ または ③ ボタンを押
 します

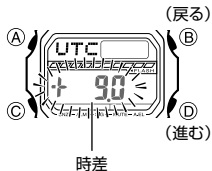
→ ④ ボタンを押すごとに
 「UTCからの時差」が0.5
 時間ずつ進み、③ ボタン
 を押すごとに戻ります。

* 時差に該当する主な都市については、21 ページ「都市コード一
 覧」参照。

※ UTC＝協定世界時

※ ④・③ ボタンとも、押し続けると早送りします。

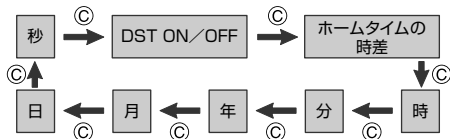
※ 時差を設定してから、時刻セットを行なってください。



5. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. ◎ ボタンを押します

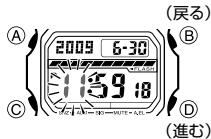
→ ◎ ボタンを押すごとに点
 滅箇所が以下の順で移動
 します。セットしたい箇所
 を点滅させます。



b. ④ または ③ ボタンを押
 します

→ ④ ボタンを押すごとに 1
 つずつ進み、③ ボタンを
 押すごとに戻ります。

※ ④・③ ボタンとも、押し
 続けると早送りします。



手順 a. ～ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを
 合わせます。

※ 「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制
 にご注意ください。

※ 「年」は 2000 年～2099 年の範囲内でセットできます。
 正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。な
 お、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動
 判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以
 外の修正は不要です。

6. セットを終わる

◎ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2～3 分間すると、自動的に点滅が止
 まります。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精度: 平均月差± 15 秒以内

基本機能: 時・分・秒、午前／午後(P)／24時間制表示、月・日・曜日、フルオートカレンダー(2000～2099年)

ストップウォッチ機能(1): 計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 999時間59分59秒99 (1000 時間計)
計測機能 = 通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2 着同時計測、オートスタート機能

ストップウォッチ機能(2): 計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 999時間59分59秒99 (1000 時間計)
計測機能 = 通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2 着同時計測

タイマー機能: セット単位 = 1 分
計測単位 = 1 秒
計測範囲 = 24 時間
リピートタイマー／オートリピートタイマー切替え、予告音 ON/OFF 切替え

アラーム機能: 時刻アラーム セット単位 = 時・分
電子音 = 20 秒間
通常アラーム = 4 本
スヌーズアラーム = 1 本
時報 毎正時に電子音で報時

ワールドタイム機能: 世界 29 タイムゾーン (48 都市) の時刻を表示、サマータイム設定機能

その他の: 自動復帰機能、サマータイム設定機能、12/24 時間制表示切替え、モニターアラーム、EL バックライト、オートライト、報音フラッシュ機能、操作音 ON/OFF 切替え

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子
CMOS-LSI

使用電池: CR2025 (電池別途販売)

電池寿命: 約 3 年

(電子音 20 秒間/日、ライト 5 秒間/日*、予告付タイマー計測 (タイムアップ 1 回) 1 回/週*、オートスタートストップウォッチ計測 1 回/週* 使用した場合
* 報音フラッシュ機能が ON のとき)

memo

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	日常生活用 防水	日常生活用強化防水		
		5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」 表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例				
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- ※ 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げ店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。

- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご来店ください。バンド交換(有償)をお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとも色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしみやすくなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご来店をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
※ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行いません（防水検査は別途有償となります）。

■最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。